

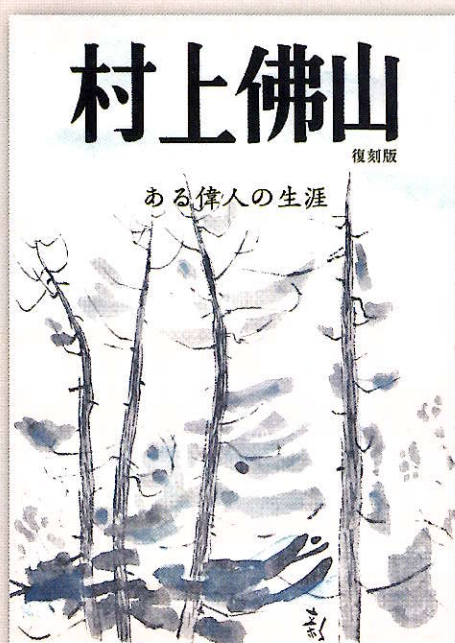
友石孝之著

発行・美夜古郷土史学校

村上佛山

復刻版

ある偉人の生涯



A5判、並製、354頁、定価 税込 2,000円

R7.1.1
発行

推薦のことば

西南女学院大学教授・九州大学名誉教授

木村 政伸 先生

村上佛山は、江戸時代後期を代表する漢詩人、学者、教育者です。漢詩の世界では、^{ふじかわひでお}富士川英郎『江戸後期の詩人たち』（筑摩書房）や^{いびたかし}揖斐高『江戸漢詩選』（岩波文庫）にも紹介されるほど、当時広く知られた詩人でした。その作風は、豊前の豊かな農村を背景とした野趣あふれるもので、「儒農」とまで呼ばれました。

教育者としても、主宰した水哉園に各地から数多くの門人が集まりました。江戸時代は教育や文化が花開いた時代ですが、それは全国各地域にこうした魅力的な人物がおり、魅力的な塾があったからにほかなりません。佛山は、全国各地の様々な人との交流をもつ一方、故郷稗田村に根ざして活躍しました。

そうした村上佛山の生涯を学ぶには、本書をおいて他にはありません。

著者 友石 孝之 明治 39 年、企救郡畑（現北九州市門司区）の生まれ。医学博士。

旧制豊津中学校、福岡高等学校を経て九州帝国大学医学部を卒業し、戦後間もなく行橋の南本町（現中央二丁目）で小児科医院を開業。かたわら終戦後の荒廃した世の中を立て直そうと、地域文化の向上を目指して昭和 26 年に美夜古文化懇話会を組織し、自ら先頭に立って郷土文化の発展・向上に尽力した。福岡県文化財専門委員、小倉郷土会会長、福岡県地方史研究連絡協議会会長、美夜古郷土史学校校長等を歴任。著者に『村上佛山』、『神代帝都考解説』、漢詩集『淡彩集』などがある。昭和 59 年没。

美夜古郷土史学校

事務局：824-0021 福岡県行橋市馬場 208（山内方）TEL.0930-22-5830